

令和7年
2025年

12月17日
水曜日

第11856号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6か月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



農水省が輸出全国協議会を開催……P4

▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー エスフーズ 巻本隆大取締役輸入食肉事業部長……P2~3

▶ 令和8年度畜産物価格取りまとめに向け最終議論—自民党畜酪委員……P3

▶ 兵庫県姫路市の採卵鶏で鳥フル発生—農水省……P3

▶ 農水省が輸出全国協議会開催、優良事業者を表彰……P4

▶ [USDA需給予測]25年食肉生産総量年計は0.6%減、26年は0.4%増……P5

▶ 豪州、食肉家畜生産者事業団が25年の市場動向トップ10を発表……P6

▶ PBを使用した新商品「十文字モモ肉の味噌チャーシュー」を発売—ニュー・クイック……P6~7

▶ かつや「豚ロース4kgが当たるクリスマスキャンペーン」を開催……P7

▶ 大阪王将の新業態、居酒屋「東京都大阪王将市餃子特区」をオープン……P7

▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉……P8

▶ [資料]日本食肉流通センター週間市況〈輸入牛肉〉……P9

▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]16日……P10

▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]16日……P11

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー エスフーズ 巻本隆大取締役輸入食肉事業部長

…詳細はP2~3

令和8年度畜産物価格取りまとめに向け最終議論—自民党畜酪委員

…詳細はP3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

大手豚肉サプライヤーインタビュー エスフーズ 巻本隆大取締役輸入食肉事業部長

(取材内容は、同社の出田純治・取締役国内ポーク事業部長への聞き取りも含む)

—前年度の販売実績をおきかせください。

国産が30万頭、売上高150億円(前年比5%増)。輸入チルド3万t、200億円、フローズン3万7千t、250億円。数量5%増、売上高10%増です。

—原料事情についてはいかがですか。

国産豚肉では、飼料価格の高止まりや水道光熱費の高騰など、生産原価が着実に上がっています。生産性の向上で何とか生産原価を抑える努力を行っています。

輸入に関しては、ウクライナ戦争やトランプ関税の影響で国際的な商流が変化しました。それに伴い、産地によって供給量や価格変動の幅が大きくなっており、長期的な組み立てがしづらくなっています。

また生体価格が例年に比べて高く、相場高の状況が続いています。米国内の冷凍在庫も依然として少なく、ピークアウトした冬場ですら大きく相場が下がらない可能性があります。

—供給源(産地)の確保に関しての対応はどうしておられますか。

輸入原料についてはコモディティー色が強く、為替の変動や産地側での需給バランスの変化による価格変動もあり、決め打ちした対策が取りづらくなっています。

このためパッカーとの取り組みを強化しています。今までは月ごとに価格が安いパッカーからの買い付けを行っていましたが、供給量を維持するためにも同じパッカーから定時買い続けることを意識し、定時定量での供給をお願いしています。

こうした関係性が深いサプライヤーとの取引を強化しつつ、産地の分散も同時に行っており、安定購買のためのリスクヘッジをかけていきたいと思っています。産地を集中させずに多様化させることでリスクコントロールしていくことに、今後も注力していきます。

—今期の計画は。

輸入ビーフ価格の高騰により、牛肉全般で厳しい

商売環境が予測されていました。低価格商材の需要が増えるとの見込みから、豚肉カテゴリで積極的な販売に努め、今期も順調に推移し、前年実績を上回る見通し



が立ってきています。次年度についても、同様の動きを行っていく予定です。

輸入ポークについても、上期物量実績は米国産が前年同期比88%、カナダ産135%、メキシコ産115%、3カ国合計で115%です。好調に推移していますので、下期も同様の勢いのまま進めていきます。

—販売を強化されているブランドおよびその特長を教えてください。

米国・タイソン・フーズの「HAWKEYE」(ホークアイ)です。特長としては霜降りの選別、肉色の選別をしている点にあります。チルドポークの販売先は量販店がほとんどを占めていますが、HAWKEYEブランドは味にも自信があるブランドで、今後さらなる拡販を進めていくに当たり、外食や総菜への提案を進めていきます。

—販売先として特に注力されている分野についてきかせてください。

価格的にも需要が安定している畜種だと考えているので、国産については量販店、外食、中食など、さまざまな販路に向けて販売強化を進めていきます。特に中食は牛肉メニューが組みにくい環境になっていることから、売価的に考えてもチャンスがあります。

輸入ポークについては、量販店への販売を強化します。アイテム別に産地を変えて、価格メリットが出せる提案を行っています。

—海外輸出について教えてください。

関連会社の日高食肉流通センターでは、相手国のニーズを深く把握し、日本産豚肉の安全・安心な生産方法を伝えることで、さらなる付加価値をもたらす販売の仕組みを構築しています。

—アニマルウェルフェアの取り組みは。

国産豚肉の生産に関しては、2024年にJAMITから発信された「AWに対応した設備基準およびマニュアル」に沿った運営に従業員一同取り組んでいます。

輸入では、メキシコ産「KINITON」ブランドで

取り組みを行っています。その結果、メキシコ国内で社会的責任企業の証しを受賞しております。当社としても、そのようなブランドの取り組みを強化しております。近い将来、環境への配慮や、豚へのストレスの軽減などを徹底している企業からのみの買い付けにシフトしていく必要があると考えます。

令和8年度畜産物価格取りまとめに向け最終議論—自民党畜酪委員

自民党は15日、畜産・酪農対策委員会(第3回)を党内で開催し、令和8年度畜産物価格などについて、取りまとめに向けた議論を行った。

冒頭、宮下一郎総合農林政策調査会長は「畜産物価格の決定においては、年内最大のイベントである。私のところにも、多くの先生から切実な声が寄せられている。現場の声を取り上げて、分析してきた。取りまとめに向けてしっかりと進めていきたい」と述べた。

畜産クラスター事業関係では、「機械価格について平均値を示して、全体的に上がっているのか教えてほしい」「機械導入に当たり、価格交渉の大切さなど、生産者がしっかりと経営者・コスト意識を持てるよう、指導や周知をしっかりと行ってほしい。自民党としても生産者に周知したい」などの意見を踏まえ、農水省が畜産クラスター事業における機械の導入実績などについて説明。「購入者の姿勢が、機械の購入価格に大きく影響する。より安く購入できる可能性があることを認識することが重要だ」「希望小売価格の上昇率よりも、実際の購入価格の上昇率が抑えられているので、3者見積もりの効果はある」と報告した。



また、前回までの意見交換では「円安による輸入畜産物価格の上昇に伴い、一部の品目は国産品も価格が上がっている一方、輸入されない品目は、価格が上がりづらい。こうしたことも踏まえ、畜種ごとの支援に濃淡をつけてほしい」「生体輸送について、生きている動物の管理の特殊性を踏まえて対応策の検討を引き続きお願いしたい」「繁殖雌牛が減少しているところ、中長期的な生産基盤維持・増頭について農水省で検討する必要がある」などの指摘の声が上がっており、これら議論を踏まえ、19日の畜産・酪農対策委員会で令和8年度畜産物価格などの決定に当たっての決議案が示される予定だ。

兵庫県姫路市の採卵鶏で鳥フル発生—農水省

農水省は16日、兵庫県姫路市の家禽農場で高病原性鳥インフルエンザ(今シーズン国内7例目)の疑

似患畜が確認されたことを発表した。これを受け、同農場の採卵鶏約24万羽が殺処分となる。

農水省が輸出全国協議会開催、優良事業者を表彰

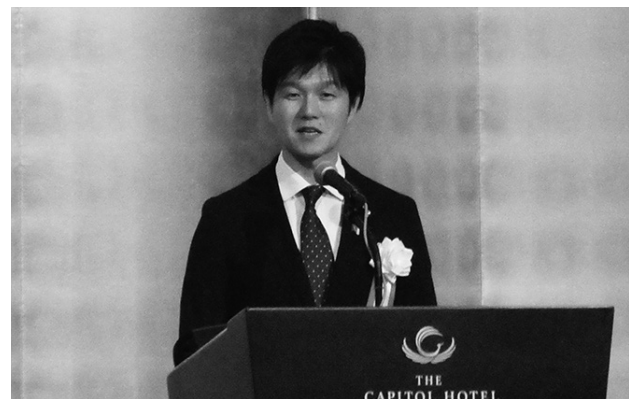
農水省は15日、令和7年度農林水産物等輸出促進全国協議会(会長=茂木友三郎・キックマン取締役名誉会長)の総会を東京都千代田区のザ・キャピトルホテル東急で開催した。

同協議会はわが国の高品質で安全な農林水産物・食品の輸出を一層促進するべく、関係者一体となった取り組みを推進することを目的に、2005年に設立されたもの。農林水産業や食品産業、流通などの関係団体で構成し、会長を茂木氏が務める。当日は、日本食海外普及功労者と輸出に取り組む優良事業者の表彰を行うとともに、輸出促進政策の現状と課題を確認した。

冒頭、茂木会長は「このたび表彰される方々に心からお祝い申し上げる。当会は2005年の農林水産物等食品の輸出額倍増という目標の下に設立され今回で20回目の総会となる。このような長年にわたる取り組みも相まって、日本の農林水産物輸出額は、当協議会が創設された時の約4千億円から、24年には1兆5千億円を突破し、4倍近い規模にまで拡大している。今後とも官民が一体となって日本食および食文化の海外発信、さらには日本産の農林水産物の輸出拡大に向けて取り組んでまいりたい」とあいさつを述べた。

続いて、佐藤啓内閣副官房長官が「05年、当時の小泉総理のリーダーシップの下、発足された本協議会は日本産農林水産物の輸出拡大という、政府方針の下で今回で20回目の節目を迎える。今年も1～10月の輸出額は昨年を上回る額となっており、引き続き堅調な伸びをみせている。こうした日本食の魅力発信の効果もあり、近年、多くの外国人旅行者が日本食の文化を体験しようと来日してくれている。政府としては本年4月に策定された新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、引き続き輸出促進、食品産業の海外展開、インバウンドによる食関連消費を重点的に進めてまいりたい」と述べた。

総会では農林水産物・食品の輸出促進に取り組む優良事業者表彰の受賞者として、日本食海外普及功労者農林水産大臣賞に3人、輸出に取り組む優良事業者大臣賞に4人、さらに局長賞が発表された。



本紙関係では大臣賞として(株)カミチクの上村昌平社長が受賞。「私共は鹿児島に本社を置くグループ企業として、牛の飼料の生産から、肥育、製造、加工、小売、外食までを行う牛の6次産業化モデルを国内はもとより海外まで構築してきた。15年から本格的に開始した和牛の海外展開においては、A5ランクの、特にロース類の需要が減少していくのではないかと懸念から生産者の皆さまの収益確保と安心して飼育していただく環境を整えるためにも販路拡大と各国に沿ったアプローチを展開してきたことが評価されたことは嬉しい」と述べた。

会の終盤には鈴木農水大臣(下写真)が「今回受賞された皆さまには心よりお祝いを申し上げます。日本の農林水産業や食の未来というのは、海外マーケットをいかに取り上げ稼いでいくかということにかかっていると思う。私もその方針で全力で取り組ませていただく。本受賞をきっかけに皆さまの活動がこれからもますます発展していくことを願っている」と述べた。

[USDA 需給予測] 25 年食肉生産総量年計は 0・6%減、26 年は 0・4%増

米国農務省 (USDA) は現地時間15日、食肉などの需給予測 (表参照) を発表した。それによると、2025年の食肉生産総量は前年割れの1069億9600万ポンドとされている。

食肉別にみると、牛肉の年間生産量は上方修正されて259億5千万ポンド (前年比3・8%減)、豚肉は下方修正されて274億6200万ポンド (1・2%減)、ブロイラーは上方修正で480億8600万ポンド (2・3%増)。1~3月の食肉生産総量は263億6900万ポンド (前年同期比0・6%減)、4~6月は263億9300万ポンド (0・9%減)、7~9月は268億6400万ポンド (0・6%減)、10~12月は273億6900万ポンド (0・2%

減) と、いずれも減少が予測されている。

26年の総量は1073億9700万ポンド (0・4%増)。1~3月は263億7500万ポンド (前年並み) で、4~6月は263億6100万ポンド (0・1%減)、7~9月は271億200万ポンド (0・9%増) となっている。

11月から12月初旬までにおける牛の推定と畜頭数は以前の予想を上回り、記録的な枝肉重量が見込まれることから、25年第4四半期 (10~12月) の牛肉生産見通しは上方修正され、65億9500万ポンドとなった。年間合計の予想も引き上げられ、259億5千万ポンドとされている。

米国の食肉需給予測(12月15日現地公表)

		24年	25年予測	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	26年予測	1~3月	4~6月	7~9月
生産量	牛肉	26,984	25,950	6,543	6,453	6,359	6,595	25,725	6,415	6,340	6,430
	(前年比)	100.1%	96.2%	99.8%	95.4%	93.8%	95.8%	99.1%	98.0%	98.2%	101.1%
	豚肉	27,789	27,462	6,956	6,706	6,614	7,185	27,475	6,810	6,645	6,775
	(前年比)	101.8%	98.8%	98.1%	99.9%	97.6%	99.7%	100.0%	97.9%	99.1%	102.4%
	ブロイラー	46,994	48,086	11,565	11,885	12,436	12,200	48,550	11,800	12,000	12,450
	(前年比)	101.3%	102.3%	101.2%	102.0%	103.6%	102.5%	101.0%	102.0%	101.0%	100.1%
	羊肉	134	135	34	36	31	33	133	34	35	31
	ターキー	5,121	4,822	1,146	1,181	1,275	1,220	4,955	1,180	1,200	1,275
合計	107,625	106,996	26,369	26,393	26,864	27,369	107,397	26,375	26,361	27,102	
(前年比)	100.7%	99.4%	99.4%	99.1%	99.4%	99.8%	100.4%	100.0%	99.9%	100.9%	
市場価格	チョイス去勢牛	187.12	223.97	205.02	225.22	239.62	226.00	235.00	230.00	234.00	236.00
	(前年比)	106.6%	119.7%	113.3%	119.5%	126.6%	119.1%	104.9%	112.2%	103.9%	98.5%
	生体豚	63.41	68.58	63.59	69.69	77.05	64.00	66.75	64.00	70.00	71.00
	(前年比)	108.2%	108.2%	110.2%	103.5%	117.3%	101.8%	97.3%	100.6%	100.4%	92.1%
	ブロイラー	129.4	124.7	130.8	135.9	121.9	110.0	125.0	120.0	130.0	125.0
	(前年比)	104.0%	96.4%	102.2%	102.9%	95.7%	84.6%	100.2%	91.7%	95.7%	102.5%
ターキー	93.7	135.2	94.8	119.3	156.8	170.0	142.5	145.0	140.0	140.0	
輸出入量	牛肉輸出	3,007	2,587	713	683	590	600	2,485	640	650	595
	(前年比)	99.0%	86.0%	97.3%	87.3%	80.3%	79.7%	96.1%	89.8%	95.2%	100.8%
	牛肉輸入	4,635	5,344	1,482	1,463	1,250	1,150	5,450	1,525	1,475	1,275
	(前年比)	124.4%	115.3%	123.9%	144.6%	103.3%	94.4%	102.0%	102.9%	100.8%	102.0%
	豚肉輸出	7,125	6,972	1,783	1,699	1,640	1,850	7,020	1,780	1,730	1,650
	(前年比)	104.4%	97.9%	98.9%	96.3%	97.9%	98.8%	100.7%	99.8%	101.8%	100.6%
	豚肉輸入	1,148	1,126	280	275	275	295	1,175	290	295	290
	(前年比)	100.5%	98.1%	94.0%	94.5%	100.4%	103.5%	104.4%	103.6%	107.3%	105.5%
	生体豚輸入	6,760	6,977	1,774	1,673	1,715	1,815	6,860	1,800	1,690	1,650
	(前年比)	100.2%	103.2%	101.5%	96.5%	107.3%	107.8%	98.3%	101.5%	101.0%	96.2%
	ブロイラー輸出	6,680	6,646	1,628	1,579	1,700	1,740	6,715	1,655	1,600	1,710
	(前年比)	92.0%	99.5%	95.0%	96.8%	101.7%	101.9%	101.0%	101.7%	101.3%	100.6%
ターキー輸出	486	412	95	97	110	110	400	90	90	110	
(前年比)	99.2%	84.8%	86.4%	81.5%	82.7%	88.7%	97.1%	94.7%	92.8%	100.0%	

単位: 量は百万ポンド、価格は牛・豚は百ポンド当たりドル、家禽はポンド当たりセント

豪州、食肉家畜生産者事業団が25年の市場動向トップ10を発表

豪州食肉家畜生産者事業団 (MLA) はこのほど、25年の市場動向トップ10を公表した。

これによると、25年は牛肉、羊肉、山羊肉の各分野で過去最高の生産、高価格、強い世界需要を示している(表)。MLAの分析によると、豪州は同年に279万t(枝肉重量ベース)と過去最高の牛肉生産量を達成する見込みであり、これは遺伝学や飼料システム、農場での長期的な生産効率の向上が寄与しているとされている。

MLAの市場情報アナリストは、「平均枝肉重量の増加と生産性の向上により、豪州は貿易環境や気候の変動が続く中でも、高品質な牛肉を過去最高の量で世界市場に供給できている」と、牛肉生産量増加の要因を分析している。また、輸出に関して「世界的な牛肉供給量の不足、特に米国での不足が、タンパク質貿易の流れを変化させている。豪州はこの環境を最大限に活用できる立場にあり、日本や韓国といった主要市場への強固なアクセスに加え、羊肉・山羊肉需要の拡大も追い風になっている」とコメントしている。さらに、気候変動に関しては、依然として肉牛生産に重要な影響を与えており、豪州北部の降雨に恵まれた天候が牛群の再構築を促す一方、南部地域の干ばつは牛肉供給量の増加

と価格動向に影響を与え続けているとしている。今後の見通しとして同アナリストは、「生産者は季節変動の激しい状況にも驚くほど適応力を示しており、その柔軟性とサプライチェーン全体にわたる継続的な投資が組み合わさることで、将来の競争力を維持する鍵となる」とコメントしている。(農畜産業振興機構)

2025年の市場動向トップ10

	世界の貿易を左右する米国のたんぱく質不足	国際貿易の不確実性
1	干ばつなどにより、米国の牛群が縮小していることから、牛肉生産量も減少し、米国内の供給がひっ迫した。その結果、米国産牛肉の国内消費向け増加に伴い、豪州は日本や韓国など他市場での輸入牛肉の市場シェア(占有率)を拡大中。この世界的な影響は羊肉などの赤身肉需要にも波及している。	2025年の世界貿易環境は、米国の新たな関税、南米生産者への市場アクセス拡大、そして中国をはじめとするアジアとの貿易の変化が相まって変動的な状況を生み出している。こうした中、豪州は優遇アクセス確保と市場多様化への投資に加え、品質・安全性・信頼性における高い評価を基盤に、赤身肉に対する持続的な世界的な需要を支えてきた。これにより比較的高い価格水準が維持され、輸出実績は過去最高を記録している。
2	より少ない頭数でより多くの牛肉を 豪州は2025年に牛肉生産量が過去最高の279万トンに達すると予測され、特筆すべき点は畜頭数が902万頭で達成される点。14年と比較して平均枝肉重量が10%増加しており、1頭当たり33キログラムの収量向上を実現。この記録は、遺伝改良と農場生産性の向上による、サプライチェーン全体での効率化を浮き彫りにしている。	生体牛生産の回復力 生体牛輸出は回復基調にあり、2025年は80万頭に達し、22年の水準に近づく見込み。この回復は、好天に恵まれた北部地域の牛群頭数の増加と、インドネシアからの持続的な需要を反映している。また、中東・北アフリカ市場を含む新規市場からの関心も高まりつつある。
3	史上最高値の羊肉価格 2025年は子羊肉と羊肉価格は前例のない水準に達した。供給不足の認識が高値を牽引したものの、実際の羊肉生産量は61万トンと予測される。24年比では3%減となるものの、供給過剰が懸念された23年比では1.8%増となる見込み。	羊牧場の進化 豪州の羊牧業は、堅調な子羊価格と教調な羊毛価格を背景に、肉用品種への移行が進み、進化を続けている。2020年~23年にかけて行われた遺伝子改良と管理技術向上により、全国的な羊群は若く、生産性が高くなっている。一方、子羊の肥育は、生産者が飼育密度を最大化し、季節的要因や寄生虫問題に対処する中で、発展途上ながら拡大している。
4	山羊肉生産量の記録更新と市場の多様化 山羊肉生産は上昇傾向を継続し、2025年のと畜頭数は24年に記録した339万頭を上回る見込み。また、輸出市場は多様化が進み、韓国、中国、カナダでの市場シェア(占有率)が拡大しており、米国の依存度を低下させている。	プレミアムラム(羊肉)の台頭 羊肉市場のプレミアムラインが著しく成長。ゲノミクス、客観的測定技術、個別別枝肉評価フィードバックにより、羊肉の部位別食品品質モデルの導入が可能となった。価値に基づくマーケティングにより、プレミアムラム製品からの収益がさらに向上することが期待される。
5	肥育牧場セクターの拡大 豪州の肥育牧場部門の収容能力と飼養頭数は増加を続けている。2025年6月30日時点で、飼養牛頭数は過去最高の158万頭に達した。肥育場の収容能力も過去最高の171万頭となり、稼働率は93%に達した。この成長は、穀物肥育牛肉への持続的な投資と堅調な需要を反映している。しかし同時に、出荷頭数の大幅な増加を吸収するためには、業界がさらに成長する必要があることも示唆している。	市場を左右する二つの気象パターン 2025年の気象条件は市場動向に影響を与え続けている。南部地域では干ばつによる飼養頭数の減少が続いている。北部地域では畜産地域全体に多量の降雨がもたらされている。この豪州北部と南部の異なる気象サイクルが価格と購買動向に影響を与えている。南部加工業者は北部市場で加工用在庫の調達に積極的である。クイーンズランド州(北部)では利用可能な放牧地と楽観的な市場心理により肉用牛の価格は高止まりしているが、南部では抑制されている。

資料: MLA Top 10 trends of 2025を基に機構作成

PBを使用した新商品「十文字鶏モモ肉の味噌チャーシュー」を発売 —ニュー・クイック

全国に85店舗の精肉店を展開するニュー・クイックは、19日からプライベートブランド「十文字鶏」を使用した新商品「十文字鶏モモ肉の味噌チャーシュー」を、順次発売する。

「十文字鶏」は、岩手県の澄んだ空気と自然豊かな環境の下、通常より約1週間長い50日間、じっくり愛情を込めて育てられた国産銘柄鶏。飼料にはビタミンEを強化配合し、特有の臭みが少なく、さっぱりとした中にしっかりとしたうまみがあり、冷めても軟らかさが保たれるのが特長だ。

北海道でじっくり熟成させ塩カドが取れ、豊かな

香りとコク・うまみが特徴の中甘口の赤色こしみその北海道みそ紅一点をベースに、みりんを合わせてまろやかな甘みと深いコクを引き出した特製みそダレ。このみりん仕立てのみそダレが鶏肉のうまみを引



き立て奥行きのある味わいに仕上げている。さらに、しっとりとした肉質と濃厚なうまみが特長の十文字鶏のモモ肉を使用し、ロール状に巻き上げて特製みそダレにじっくり漬け込みオーブンで丁寧に焼き上げる。

中はしっとりジューシー、外側はみそが香ばしく焼けた食欲そそる仕上がりに。素材のうまみとみそのコクが一体となった、ニュー・クイックならではの鶏チャーシューだ。販売価格は、税込み429円/100g(税抜き398円/100g)

かつや「豚ロース 4kg が当たるクリスマスキャンペーン」を開催

アークランドサービスホールディングス(株)の子会社、トンカツ専門店「かつや」を展開している(株)かつや(東京都千代田区、大内勇一社長)は、米国食肉輸出連合会(USMEF)の協賛による「豚ロース4kgが当たるクリスマスキャンペーン」を、15日から国内同店で実施している。

同店は創業以来、トンカツに使用する豚肉にこだわり、北米産の豚ロース肉を使用している。本キャンペーンは、日ごろご利用しているお客へ、豚肉へのこだわりを改めて知ってもらう機会として企画したもの。期間中に同店で対象商品(ロースまたはヒレを含む商品)を注文したレシートで応募すると、抽選で



250人にアメリカ産豚ロース肉4kgが当たるキャンペーンは昨年も実施し、大変多くの反響があったことから、今年も開催するとしている。

大阪王将の新業態、居酒屋「東京都大阪王将市餃子特区」をオープン

(株)大阪王将が展開するギョーザ専門店「大阪王将」は17日、東京都千代田区外神田に、手作りギョーザとアルコールを楽しめる、大阪王将初となる立ち飲み風居酒屋「東京都大阪王将市餃子特区」をオープンした。

同社は大阪王将創業55周年を機に、「55周年新モデル店舗」の展開をスタートしており、新モデル店舗では、日常使いの街中華はそのまま、時代に合ったスタイルへ変更していた。2024年10月にオープンした大阪王将神保町店は、近隣にオフィスも多く、1品メニューも豊富だったことから“ちょい飲み”需要が盛り上がっていた。またインバウンド客にも口コミやSNSで話題になっていたこともあり、新業態「東京都大阪王将市餃子特区」としてリニューアルオープンした。

「東京都大阪王将市餃子特区」ではクラフトギョーザを提供。皮から手作りし、焼きギョーザは同社の外食店舗で初となる“羽”のついた「東京羽根つき爆汁餃子」や、水ギョーザは中から肉汁があふれ



出す「東京爆汁ゆであげ餃子」を提供。水ギョーザは中具の種類も、えびやしそ、パクチーなど、豊富に用意している。ギョーザ1品注文につき14種類から好きなタレを選べるスタイルで、ギョーザとタレの組み合わせは128通りにもなるという。

ギョーザ以外のメニューは、串カツやあげたこ焼き、お好み焼きを串焼き状にした串焼き棒など、気軽につまめるメニューを販売する。

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈和牛・交雑牛・乳牛チルド〉

(令和7年11月23日～11月29日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量kg)

		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み 平均値	取引重量		
		和牛チルド「4等級」	首都圏	カタロース	3,672	3,901		4,600	4,051	10,545	近畿圏	3,802	4,104	4,536
カタ	3,547			3,717	3,768	3,657	19,151	3,251	3,564	4,104		3,546	7,284	
カタバラ	2,192			3,564	3,801	3,184	3,793	2,363	2,456	2,935		2,601	1,311	
マエセット	-			-	-	-	614	-	-	-		-	-	-
ヒレ	9,180			10,260	11,196	10,232	1,951	8,640	9,936	10,260		9,704	1,709	
ロイン	5,886			6,804	9,396	7,311	2,034	5,184	5,724	6,241		5,789	3,772	
ロインセット	6,067			6,450	6,452	6,324	1,717	-	-	-		-	141	
トモバラ	1,836			1,944	2,376	2,091	13,824	1,869	2,381	3,348		2,490	7,973	
ウチモモ	3,668			4,212	4,317	4,144	3,138	3,667	4,320	4,320		4,244	1,587	
シントアマ	3,801			4,143	4,428	4,137	3,986	3,674	4,320	4,320		4,288	1,650	
ランイチ	3,888			4,212	4,292	4,142	4,934	4,169	4,320	4,320		4,307	1,441	
ソトモモ	3,240			3,672	3,992	3,672	4,530	3,637	3,672	3,691		3,676	1,216	
スネ	1,944			2,007	2,092	1,993	3,882	1,992	2,030	2,160		2,044	2,897	
モモセット	3,974			3,996	4,044	4,001	11,707	3,618	3,780	3,942		3,765	13,774	
セット	3,629	3,983	4,427	4,046	35,336	3,672	4,082	4,477	4,018	8,075				
重量合計						121,142						64,783		
和牛チルド「4等級」	中京圏	カタロース	3,402	3,564	3,780	3,627	2,036	九州圏	-	-	-	-	899	
		カタ	3,456	3,672	3,834	3,642	2,706		-	-	-	-	388	
		カタバラ	2,700	2,862	3,240	2,939	1,239		-	-	-	-	316	
		ヒレ	-	-	-	-	642		-	-	-	-	181	
		ロイン	4,428	5,184	5,940	5,284	2,267		-	-	-	-	282	
		トモバラ	1,652	1,782	3,510	2,093	3,700		1,749	1,836	3,996	2,109	1,649	
		ウチモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	338	
		シントアマ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	478	
		ランイチ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	222	
		ソトモモ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	379	
		スネ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	389	
		モモセット	3,564	3,780	3,888	3,784	1,155		-	-	-	-	-	
		セット	3,637	3,637	3,637	3,637	3,772		3,510	3,753	4,104	3,804	12,442	
		重量合計												

(令和7年11月23日～11月29日)

交雑牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	3,097	3,209	3,343	3,204	13,528	近畿圏	2,916	3,024	3,229	3,039	11,337
		カタ	2,484	2,725	3,046	2,809	8,433		2,430	2,538	2,873	2,578	9,186
		カタバラ	1,927	2,561	2,628	2,454	4,049		1,494	1,544	1,633	1,563	2,618
		ヒレ	5,940	6,336	6,486	6,343	3,620		6,480	6,725	7,020	6,773	2,947
		ロイン	4,053	4,420	4,752	4,325	2,647		4,363	4,536	4,731	4,550	6,254
		トモバラ	1,620	2,484	2,905	2,305	10,947		1,512	1,620	1,947	1,677	10,889
		ウチモモ	2,484	2,592	2,696	2,611	3,399		2,484	2,582	2,713	2,586	4,203
		シントアマ	2,592	2,678	2,808	2,690	4,067		2,484	2,592	2,808	2,616	4,498
		ランイチ	2,699	2,732	3,077	2,805	2,442		2,484	2,592	2,700	2,580	4,000
		ソトモモ	2,252	2,348	2,393	2,328	2,788		2,376	2,432	2,505	2,443	3,715
		スネ	1,620	1,717	1,782	1,703	3,780		1,620	1,763	1,820	1,758	4,411
		モモセット	-	-	-	-	-		2,557	2,700	2,873	2,701	8,467
		セット	2,718	2,907	3,308	2,995	26,972		3,101	3,197	3,456	3,189	39,234
		重量合計											

乳牛チルド「3等級」	首都圏	カタロース	2,754	2,986	3,240	2,984	4,616	近畿圏	2,538	2,716	3,348	2,787	5,337	
		カタ	-	-	-	-	585		1,831	2,074	2,340	2,115	3,783	
		カタバラ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-
		三角バラ	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	865
		ブリスケット	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	3,138
		ヒレ	5,292	5,400	5,616	5,430	1,997		4,860	5,400	5,832	5,286	2,110	
		ロイン	3,269	3,269	3,618	3,303	1,466		3,564	3,780	4,158	3,767	2,761	
		トモバラ	1,404	2,907	3,132	2,594	2,338		1,404	1,836	3,078	2,024	4,472	
		ウチモモ	2,160	2,397	2,590	2,393	2,099		2,138	2,138	2,232	2,150	6,639	
		シントアマ	2,080	2,080	2,160	2,089	1,748		1,998	2,106	2,160	2,094	2,385	
		ランイチ	2,052	2,268	2,426	2,205	1,531		2,052	2,068	2,106	2,081	2,321	
		ソトモモ	-	-	-	-	973		2,052	2,970	2,970	2,656	2,589	
		スネ	1,512	1,566	1,674	1,584	1,461		1,620	1,674	1,804	1,684	3,374	
		セット	2,533	2,592	2,808	2,597	22,460		1,851	1,868	2,052	1,944	28,789	
重量合計												68,563		

[資料] 日本食肉流通センター週間市況 〈輸入牛肉〉

(令和7年11月16日～11月30日)

(単位：キロ当たり円、税込み、重量 kg)

		首都圏					近畿圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,484	2,668	2,668	2,642	5,692	2,430	2,484	2,484	2,467	1,026
	ショートプレート	1,283	1,328	1,466	1,349	47,629	1,318	1,318	1,318	1,318	31,084
	リブアイロールリップオン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
	チャックリブ	3,197	3,197	3,197	3,197	13,044	-	-	-	-	216
	ストリップロイン	-	-	-	-	285	-	-	-	-	-
米国F	チャックアイロール	2,646	2,646	2,646	2,646	1,285	-	-	-	-	483
	ショートプレート	1,069	1,134	1,231	1,164	12,364	1,066	1,080	1,091	1,078	33,542
豪州チルド	チャックアイロール	2,106	2,106	2,106	2,106	2,439	-	-	-	-	-
	チャックロール	-	-	-	-	-	1,663	1,663	1,706	1,675	5,607
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	386
	クロッド	1,480	1,480	1,480	1,480	2,352	1,598	1,620	1,674	1,626	2,124
	ポイント&ブリスケット	1,501	1,501	1,642	1,528	2,433	-	-	-	-	253
	ナーベル&ブリスケット	1,172	1,172	1,172	1,172	1,880	-	-	-	-	-
	チャックショートリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	キューブロール	-	-	-	-	67	-	-	-	-	47
	ストリップロイン	3,132	3,132	3,132	3,132	3,067	-	-	-	-	22
	テンダーロイン	5,670	6,048	6,210	5,981	1,262	-	-	-	-	106
	トップサイド	1,523	1,523	1,523	1,523	3,526	1,674	1,825	1,825	1,803	1,297
	シックフランク	1,512	1,512	2,124	1,593	2,446	-	-	-	-	14
	D-ランプ	1,793	1,793	1,793	1,793	2,396	-	-	-	-	-
アウトサイド	1,642	1,642	1,642	1,642	1,798	1,480	1,512	1,674	1,534	1,239	
取引重量合計		103,965					77,478				

		中京圏					九州圏				
		第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
米国C	チャックアイロール	2,160	2,646	2,646	2,511	1,728	2,657	2,657	2,808	2,701	8,750
	ショートリブボンレス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	チャックリブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
米国F	チャックアイロール	-	-	-	-	-	2,700	2,970	3,046	2,920	1,063
	ショートプレート	1,102	1,112	1,166	1,130	2,949	1,102	1,156	1,188	1,145	8,242
豪州チルド	チャックロール	-	-	-	-	-	-	-	-	-	109
	チャックテンダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	クロッド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ポイント&ブリスケット	-	-	-	-	619	-	-	-	-	19
	ナーベル&ブリスケット	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	キューブロール	-	-	-	-	14	-	-	-	-	15
	ストリップロイン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	96
	テンダーロイン	-	-	-	-	107	-	-	-	-	-
	トップサイド	1,890	1,987	1,987	1,967	3,986	-	-	-	-	398
	シックフランク	-	-	-	-	978	-	-	-	-	-
D-ランプ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アウトサイド	-	-	-	-	360	-	-	-	-	-	
取引重量合計		10,741					18,709				

※豪州産の価格はすべてグレインフェッド・ミドル。

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月16日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1	
和牛	雌 A	高値	3,780	2,754	2,561	-	-
		安値	2,484	2,413	2,228	-	-
		平均	2,905	2,608	2,463	2,429	-
	89頭	頭数	58	21	9	1	-
	雌 B	高値	-	-	-	-	-
		安値	-	-	-	-	-
		平均	-	-	-	-	-
	-頭	頭数	-	-	-	-	-
	去 A	高値	3,142	2,688	2,594	-	-
		安値	2,542	2,378	2,454	-	-
		平均	2,729	2,587	2,563	-	-
	199頭	頭数	149	42	8	-	-
去 B	高値	-	-	-	-	-	
	安値	-	-	-	-	-	
	平均	-	-	-	-	-	
-頭	頭数	-	-	-	-	-	
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-	
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-	
	去 B -頭	平均	-	-	-	-	
	去 C -頭	平均	-	-	-	-	
交雑牛	雌 B	平均	-	1,920	1,735	1,579	-
		11頭	頭数	-	1	6	4
	雌 C	平均	-	-	-	-	-
		-頭	頭数	-	-	-	-
	去 B	平均	1,939	1,825	1,779	1,596	-
		33頭	頭数	2	5	20	6
去 C	平均	-	-	1,577	-	-	
	2頭	頭数	-	-	2	-	-

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜	430	916	-	(競り)	(相対)	
売買	430	1,088	136.0	-	-	84

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,804	2,183	1,830	1,638	-
	B	-	-	-	1,609	-
和 去	A	2,646	2,571	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	-	1,061
	C	-	-	-	-	963
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	1,778	1,636	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	1,876	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	849	827	788	652	595
	安値	672	622	567	432	313
	平均	724	665	658	580	476
	頭数	(10)	(377)	(392)	(209)	(100)
搬入競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
搬入相対	高値	-	-	-	-	-
安値	-	-	-	-	-	
平均	-	-	-	-	-	
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 12月16日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) [] は豚規格

	5[極上]	4[上]	3[中]	2[並]	1[等外]
和 雌 A	2,832	2,640	2,356	-	-
(頭数)	(26)	(12)	(2)	(-)	(-)
B	2,770	2,487	-	2,058	-
(頭数)	(1)	(2)	(-)	(1)	(-)
和 去 A	2,797	2,582	-	-	-
(頭数)	(36)	(7)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	-	-
交雑雌 B	-	1,925	1,791	1,722	-
C	-	-	1,748	-	-
交雑去 B	-	1,921	1,797	1,753	-
C	-	-	1,769	1,707	-
豚	-	642	615	540	-

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	12月16日	12月15日	(12月累計)
豚	71,700	71,700	841,900
成牛計	5,360	5,590	65,570
和牛雌	1,270	1,350	16,710
和牛去勢	1,420	1,830	19,760
乳牛雌	710	360	8,180
乳牛去勢	560	520	5,340
交雑雌	670	520	6,810
交雑去	730	990	8,710

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月16日

	1,718円	(前日 1,641円)
東京		
	1,680円	(前日 1,726円)
大阪		

[豚・全農建値] 12月16日

上	中	取引頭数	市況
654円	643円	1,194頭	強もちあい

と畜	牛 143頭	豚 132頭	牛概況	もちあい
売買	牛 127頭	豚 99頭	豚概況	急伸

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月16日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	616 (594)	- (-)	5,595	-	上伸
仙台 [中]	578 (593)	467 (485)	502	36	反落
栃木 [地]	662 (661)	558 (616)	1,905	29	もちあい
茨城 [地]	641 (632)	612 (608)	1,530	736	続伸
群馬 [地]	672 (652)	557 (563)	2,500	276	続伸
さいたま [中]	643 (650)	634 (664)	405	407	反落
東京 [中]	665 (637)	658 (602)	916	1,088	急伸
横浜 [中]	654 (652)	638 (624)	688	688	もちあい
山梨 [地]	684 (-)	675 (-)	154	105	上伸
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	644 (627)	622 (616)	966	248	上伸
京都 [中]	623 (622)	604 (621)	124	114	もちあい
大阪 [中]	642 (595)	615 (578)	132	64	急伸
神戸 [中]	634 (-)	630 (-)	-	155	-
岡山 [地]	610 (601)	596 (594)	380	307	強含み
広島 [中]	613 (602)	574 (567)	346	43	続伸
福岡 [中]	611 (607)	583 (569)	592	134	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月9日～12月15日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,731,940 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,212	1,220	1,278	1,227	89,134
うで	637	760	828	761	150,764
ロース	1,069	1,177	1,210	1,158	145,801
ばら	1,233	1,307	1,410	1,312	176,200
もも	762	769	832	779	204,252
ヒレ	1,048	1,179	1,179	1,151	23,031
セット	915	1,042	1,059	1,002	942,758

◇近畿圏 総重量 843,794 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,269	1,350	1,385	1,339	70,224
うで	713	733	810	748	134,875
ロース	1,091	1,221	1,254	1,205	120,651
ばら	1,264	1,358	1,458	1,364	144,373
もも	704	729	809	737	190,557
ヒレ	1,080	1,199	1,240	1,172	14,115
セット	885	999	1,133	1,007	168,999

[食鳥正肉日経相場] 12月15日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	696	775	967	203
ムネ	476	536	695	159

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	699	792	1,030	3
ムネ	471	521	606	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月15日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽モ	手羽サ	ササミ
高値	1,029	759	550	600	650
安値	700	520	290	360	350
平均	782	539	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 258頁 定価2,500円(送料別)

銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男
鏡見 著

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ 牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

■職人の技を次世代へ繋ぐ、保存版 牛枝肉・部分肉の 分割と商品化

カラー写真も豊富で、各種規格、枝肉の分割から商品化までの全てが分かる一冊。

B5判 216頁 定価5,500円(送料別)

■知識を豊かにする 食肉用語事典

平成22年に新改訂した、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します